

🔍 シラバス参照 / View Syllabus

授業情報 / Class Information

[科目一覧へ戻る / Return to the Course List](#)

2020/05/12 現在 / As of 2020/05/12

- [基本情報 / Basic Information](#)
- [詳細情報 / Detailed Information](#)
- [授業計画詳細情報 / Class Schedule Details](#)

基本情報 / Basic Information

開講科目名 / Course	全学総合講座(メディアと私たち) / INTERDEPARTMENTAL LECTURES (MEDIA AND US)
時間割コード / Course Code	24581
開講所属 / Course Offered by	大学全カリ総合科目 /
ターム・学期 / Term・Semester	2020年度 / 2020 Academic Year 秋学期 / FALL SEMESTER
曜限 / Day, Period	火4 / Tue 4
開講区分 / semester offered	秋学期 / Fall
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	1,2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	佐藤 勸治

担当教員情報 / Instructor Information

教員名 / Instructor	教員所属名 / Affiliation
佐藤 勸治	言語文化学科 / INTERDISCIPLINARY STUDIES
授業の目的・内容 / Course Objectives	<p>メディアは急速な発展を遂げる一方、メディアに対する政治的な圧力が強まっていることが伝えられています。そうした中で、私たちはメディアとどう向き合えばいいのでしょうか。また、ソーシャルメディアの発達によって、情報を発信する側にもいる私たちは、どのようにそれを生かしていけばいいのでしょうか。</p> <p>本講義では、メディアと関わりの深いゲスト・ティーチャーにメディアの現場と仕事の実情について語ってもらい、メディアに関する考えを深めていくことを目的とします。</p> <p>テレビ、新聞などのメディアで働くゲストを招いて、それぞれのテーマでお話し戴きます。メディアとそれを取り巻く環境を考えることを通じて、「公正な報道」とは何か、匿名報道をどう考えるか、権力のメディア介入問題など、社会で問題になっていることについて、自分なりの意見を形作っていただけるような講義にしたいと考えています。</p>
授業の形式・方法と履修上の注意 / Teaching method and Attention the course	テレビ、新聞などのメディアで働くゲストを招いて、それぞれ右のようなテーマでお話し戴きます。

事前・事後学修の内容 ／Before After Study	講師が紹介する文献や資料を自主的に集めて読み進めてください。
テキスト1 ／Textbooks1	書籍名 ／Title 著者 ／Author name 出版社 ／Publisher ISBN ／ISBN その他(任意) ／other 特になし
テキスト2 ／Textbooks2	書籍名 ／Title 著者 ／Author name 出版社 ／Publisher ISBN ／ISBN その他(任意) ／other
テキスト3 ／Textbooks3	書籍名 ／Title 著者 ／Author name 出版社 ／Publisher ISBN ／ISBN その他(任意) ／other
参考文献等1 ／References1	書籍名/件名 ／Title 著者 ／Author name 出版社/URL ／Publisher ISBN ／ISBN その他(任意) ／other
参考文献等2 ／References2	書籍名/件名 ／Title 著者 ／Author name 出版社/URL ／Publisher ISBN ／ISBN その他(任意) ／other
参考文献等3 ／References3	書籍名/件名 ／Title 著者 ／Author name 出版社/URL ／Publisher ISBN ／ISBN

	その他(任意) /other		
評価方法 /Evaluation	最終レポート(100%)によります。		
関連科目 /Related Subjects			
備考 /Notes	質問を歓迎します。 * 講義の順序(ゲストについても一部)は変更になることがあります。 参考文献:授業中に紹介します。		
到達目標 /Learning Goal	身近な難問や関心を学問に結び付け、現代社会に必要な教養を習得する 動機づけとし、将来、様々な知的領域を探索できるようにする。		
回 /Time	授業計画(主題の設定) /Class schedule	授業の内容 /Contents of class	事前・事後学修の内容 /Before After Study
1	ガイダンス	コーディネーターによるオリエンテーション	
2	新聞論説委員(本学非常勤講師/東京新聞・半田滋) 「自衛隊とは何か・私たちとの関わりは」	軍事関係、自衛隊や防衛省などの記事と解説を担当。メディアで報じられている自衛隊と、私たちとの関わりについて講義する。	
3	元テレビディレクター(元NHK・永田浩三) 「テレビメディアと政治権力」	政治権力によるドキュメンタリー番組への介入事件を通じて、ジャーナリストがもつべき視点と視野、および姿勢について講義する。	
4	テレビアナウンサー(日テレ・井田由美) 「女性アナウンサーの仕事の変遷」	<内容未定>	
5	元テレビディレクター(元日テレ・窪岡文男) 「ドキュメンタリー「日本の空は今も占領下？」」	米軍の管理空域問題などについてのドキュメンタリー番組制作の経験をいかし、番組制作のための取材方法や、編集方法などについて講義する。	
6	テレビディレクター(日テレ・清水潔) 「戦争と報道 南京大虐殺ドキュメンタリー番組」	犯罪捜査や南京事件などのドキュメンタリー番組制作のために行った資料収集方法、取材方法やジャーナリストの視点を講義する。	
7	新聞記者(朝日新聞・河原理子) 「犯罪被害者と取材・報道」	オウムのサリン事件など、犯罪被害者の取材を通じて、何をどのように伝えるべきなのか、学生とともに考える。	
8	新聞記者(大手新聞社) 「伝えるということ」	<内容未定>	
9	映像クリエイター(笠原衛) 「時代を見る目 自分の目の再構築」	映像制作関連の仕事で持ち込まれる特にAIがらみのビッグデータ処理と、他方に求められる人間としての感性や眼力について講義する。	
10	雑誌記者(アエラ・渡辺豪) 「沖縄の基地問題を本土から考える」	毎日新聞記者等を経て、『AERA』などに寄稿しているフリージャーナリスト。沖縄の問題を全国的な問題にしていくメディアの課題などについて講義する。	
11	映画監督 「戦争とメディア 戦地をどのように報じるか」	<内容未定>	

12	憲法学者(本学名誉教授・右崎正博) 「メディアと表現の自由」	憲法学者およびBPO 委員の立場と経験から、メディアと表現の自由について講義する。	
13	テレビディレクター(MBS・齊加尚代) 「ネットメディアを支配しようとする人たち」	政治権力による報道抑圧や、研究への介入について、ネットを含めたメディアが動員して行われている問題を扱った制作番組の経験をいかして講義する。	
14	講義のまとめ	コーディネーターによるまとめ	

[科目一覧へ戻る / Return to the Course List](#)